

5月5日(火曜日)「ソロモン(7)神殿も廃墟に」

【新改訳 2017】

I 列王記 9・4－9

「もし、あなたがたとあなたがたの子孫が、わたしにそむいて従わず…
…行ってほかの神々に仕え、これを拝むなら……わたしがわたしの名
のために聖別した宮を、わたしの前から投げ捨てよう。……」(6、7節)

ここでは、主の栄光に満ちた神殿も廃墟にされることがあるという警告が語られています。

これまで、神殿が祝福される所となる条件については何回か学びました。しかし同時に、祝福されない場合もあると語られていることも忘れてはなりません。主は、もしソロモンをはじめとして、イスラエル人が主なる神に背いて従わず、みことばを守らず、偶像礼拝に走るなら、イスラエルは滅び、聖別された宮も廃墟となり、民は物笑いになると言われたのです。

この霊的な意味は、今日の会堂についてもあてはまります。主ご自身とみことばに聞き従うことをしない時、教会は無力となり、会堂は神の祝福の場所でなくなるでしょう。

～祈り～

主よ。私たちの教会が、間違っても、神の祝福のない霊的な廃墟となる
ことがありませんように。どうか、どんな時にもあなたにお従いする者
であらせてください。

【学びのために】

今一度、祝福される条件(方法)と祝福されない理由を教えられている
ことに注意しましょう。真の霊的祝福は、決して人間の身勝手な信仰で
得られるものではないことを覚えたいと思います。